

## 📢 受給者証更新手続きと前穂へのお知らせ

「受給者証の更新手続きはお済みでしょうか？」

「障がい福祉サービス」「地域生活支援事業」それぞれの受給者証の更新はお済みでしょうか？期限切れになってしまいますと、サービスのご利用が難しい場合もあります。更新手続きについてご不明な点は、行政窓口(障がい福祉課)へお問い合わせの程、宜しく願い致します。

また、更新手続きをされた際は、変更内容等をご確認の上、前穂へのご通知も合わせて、必ずお願い致します。

※写し(コピー)をスタッフにお渡し頂くか、FAX(072-689-8900)して頂くのでも結構です。

## ! ご持参品の紛失と忘れ物について

ご持参品の紛失とお忘れ物については、2010年11月号などでも「お荷物について」と題して、お詫びとお願いをさせて頂きましたが、その後も紛失や無記名のお忘れ物が続いております。

管理不足や基本の不徹底が原因かとも思え、申し訳ない次第です。就いてはあらためてお願いを致します。

●ご持参品には、すべてに御記名の程、宜しく願い致します。

(衣類の場合、文字が薄くなってしまい判別できない物もあります。ご注意ください。)

●お持ち帰りになられた物の中に、他ゲストの方の物が紛れこんでいた場合は、真に恐縮ですが、前穂までご一報お願い致します。

# 前穂通信

まええほつうしん

発行日

2011年5月1日

発行元

自立センター前穂  
〒569-1022  
高槻市日吉台  
1番町21-18  
072-689-8600

## 📖 シリーズ「きょうだいの思い」⑤

『あさがおオシッコ事件』

3年生のある日、音楽室から教室に戻ってきたら、クラスの男の子たちが騒いでいる。

『〇〇の弟があさがおにオシッコかけたー！！』大騒ぎだった。

その言葉通り、弟は1年生が育てているあさがおにオシッコをかけたらしい。私と弟の教室は隣で、それも1階、目撃者多数だったようだ。言い返せる言葉もなく私は机に顔を伏せて泣いた。

休み時間が早く過ぎて、担任の先生が来てほしい一心だった。チャイムが鳴って先生が教室に戻ってきたら、私が泣いている理由を女の子たちが説明してくれた。先生は男の子たちを厳しく叱りはしなかった。

それよりも先生は机に伏せて泣いている私に、

「〇〇さんも、こんな事で泣いてたらアカン。これからも弟のことで、もっともっと辛いことがあるよ強くならなアカン。」と、言い切ったのである。一瞬にしてクラスのみんなが静かになった。

てっきり慰めてくれると期待していた。私には衝撃な言葉だった。でも私はこの言葉を忘れることなく大人になった。大人になるにつれて、この言葉の深さにも気づいていった。20代の頃に、この先生が勤務していた教育センターへ会いに行ったことがある。先生に、あさがおオシッコ事件の話をしたら、先生も覚えていてくれた。

「あの時、〇〇さんにどう言葉をかけたらいいいのか一瞬迷ったよ。でも〇〇さんやったら、絶対わかってくれると思って、厳しいことを言ったのよ。」大人になって、やっと『答え合わせ』ができたような心境だった。

高学年になると、私を『障がい者』と呼ぶ男の子がいた。やっぱり私は、弟の事で何か言われると泣きそうになった。その時の担任の先生に相談したがあやふやな返事だった。

『障がい者』と呼ばれることは、そう長くは続かなかった。でも、あさがおオシッコ事件とは違い『障がい者』と呼ばれることは、とても陰湿で私の心をえぐられた気分だった。